

## 平成4年度調査実施状況（狛江市）

（分担研究：実態調査実施に関する研究）

住友眞佐美

要約：小児期からの成人病の発症予防ために、コーホースタディを計画実施した。調査の対象は、平成元年4月2日から平成2年4月1日生まれの児、約550名で、対象児が小学校6年生になる平成13年度まで継続して調査を行う予定である。平成4年12月現在、調査対象者は382名で、アンケートは326名（85.3%）を回収している。

見出し語：小児期からの成人病予防、コーホースタディ、3歳児

### 【はじめに】

小児期の生活習慣・食習慣と、成人病の発症との関連について調べるために、コホースタディを計画した。

### 【調査対象】

平成元年4月2日から平成2年4月1日生まれの児、約550名を対象とする。

### 【調査期間】

#### 第1次調査

対象児が3歳児健診を受診する、平成4年5月から平成5年4月とする。

#### 第2次調査

対象児が小学校1年生になる、平成8年度に調査を計画する。

---

東京都武蔵調布保健所

(Tokyo Metropolitan Musashichofu Health Center)

### 第3次調査

対象児が小学校4年生になる、平成11年度に調査を計画する。

### 第4次調査

対象児が小学校6年生になる、平成13年度に調査を計画する。

## 【調査内容および方法】

### 第1次調査

対象児が3歳児健診を受診する際に、身長・体重・皮脂厚測定を行う。さらに、「生活習慣に関するアンケート(幼児用)」を利用して、生活習慣・食習慣の調査を実施する。なお、アンケート用紙は事前に郵送して、健診の当日回収する。

平成5年1月現在の対象者数および調査実施数は表1のとおりである。

### 第2・3・4次調査

習慣に関するアンケート(学童用)」を用いた生活状況調査を行うほか、できれば総コレステロール値検査等の血液検査が実施できるように、関係機関に働きかけていく。

## 【調査の実施状況と問題点】

平成5年1月現在の調査票の回収状況を表1に示す。調査対象者は431名で、そのうちの360名(83.5%)が健診を受診した。回収した調査票は360人分で、対象者全数に対

して83.5%の回収率である。回収率に特に問題はないものと考えられる。特に、受診者に対しては、100%回収しており、受診者にはアンケートに答えることに対する拒否や抵抗はなかったものと思われる。

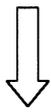
しかし、記入の不備はみられ、特に、家族歴の記入が不十分なものが多かった。「父」、「母」とあるのを、子どもの父母でなく、記入者(主に母親)の父母(児にとっては祖父母)ととらえて記入しているものが目立った。今後、調査を継続する場合には、もう少し書きやすくするか、記入例をのせるなど、改善を検討する必要があるものと思われる。

表1 調査対象者数・受診者数・協力者数  
(平成5年1月現在)

	対象者数	受診者数	協力者数
4月生	43	33	33
5月生	45	44	44
6月生	42	36	36
7月生	54	48	48
8月生	50	41	41
9月生	42	34	34
10月生	55	47	47
11月生	51	43	43
12月生	49	34	34
計	431	360	360



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:小児期からの成人病の発症予防ために、コーホースタディを計画実施した。調査の対象は、平成元年4月2日から平成2年4月1日生まれの児、約550名で、対象児が小学校6年生になる平成13年度まで継続して調査を行う予定である。平成4年12月現在、調査対象者は382名で、アンケートは326名(85.3%)を回収している。